

金属労協・第 60 回定期大会 議長挨拶

2021年9月7日
全日本金属産業労働組合協議会
議長 高倉 明

金属労協・第 60 回定期大会の開催にあたり、執行部を代表しご挨拶申し上げます。

今年の大会も、新型コロナウイルス感染症への対応のため、Web 会議システムによる開催となりました。開催時間を大幅に短縮した運営となり、皆さんには、何かとご不便をおかけしますが、スムーズな運営にご協力頂きますようお願い申し上げます。

<組織改革推進チーム報告>

昨年度 2021 年度は、2024 年に結成 60 周年を迎える節目をとらえ、金属労協のあるべき姿の方向性を具現化するための、準備を行う 1 年と位置づけ、構成組織の書記長・事務局長による組織改革推進チームにおいて、財政基盤の確立をベースとした組織と活動のあり方について論議を深めてきました。

その内容については後程報告しますが、これからは、金属労協にしかできない活動に特化して、連合との役割分担や各産別の活動の効率化にも寄与することを基本に、限られた人材と財政の中で、5 産別の深い連携のもとで、金属産業の健全な発展のために資する組織であり続けていけるよう、金属労協の将来像を見据えた重大な決断をいたしましたので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

<取り巻く環境>

金属産業を取り巻く環境は、米中の激しい対立や地政学的な問題、保護貿易主義の台頭、第 4 次産業革命・DX などの大きな変革期を迎えていた時に、昨年からのコロナ禍が重なったことで、あらゆる分野・領域において急速な変革をもたらしています。

今後も金属産業が、日本で競争力を磨き続け、雇用を維持・創出し、モノづくりを続けていくためには、変化や危機を敏感に察知し、今起こりつつある変化を後戻りさせずに、あらゆる変革に果敢に挑戦していかなければなりません。

また、グローバルレベルでも様々な変化をもたらしており、コロナ以前から問題視されてきた不安定雇用の増大や格差拡大による社会の二極化が進み、人々の怒りや不満をさらに増幅させ、人と人・国と国とを結びつけていた社会的な絆が損なわれる状況も散見されています。

従って、国際的に自由で健全な市場経済体制を築き上げていくことが重要であり、公正・安定と効率を調和させるバランス感覚を世界が取り戻す、力と英知の結集が必要です。そのためにも、世界中の金属産業に携わる労働者が集う、インダストリアル・グローバルユニオンにおける連携・連帯が必要であり、金属労協としても、役割と責任をしっかりと果たしていかなければなりません。

<労働運動のあり方>

これから新型コロナウイルスと向き合っていく中で、ニューノーマル（新常态）という、これまで当たり前であったことが、これからは当たり前でなくなり、我々労働組合の活動のあり方や社会のあり方も大きく変わっていくことが想定されます。

ワクチン接種が進み、状況は変わってくると思いますが、引き続き感染予防は必要であり、その有効な手段は、3密の回避とソーシャルディスタンスの確保です。しかしながら、人と「会わない・近づかない・向き合わない・話さない」ことなどによる弊害も懸念されます。他の人と触れ合うことで、喜びや悲しみ、感動や共感を分かち合えることは、人とのつながりや交わりによって生み出されるものであり、寛容性を失った組織や社会は、持続可能性を失ってしまいます。

オンラインでの活動では、より多くの人と触れ合う機会ができ、活動の幅が広がるなどのメリットもありますので、対面での活動といかに両立させ相乗効果を上げていくのか、また、多様化する個々人の価値観やニーズがある中で、組合員の総意としての意見をいかに纏めていくのかなど、労働組合としての団結力・組織力を高めていく上での工夫が必要です。従って、これまでのやり方に固執することなく、危機をチャンスと捉え、一人一人の行動を見つめ直し創り出していく、新しい価値観のもとでの構想力が問われています。

引き続き皆さんと共に、金属産業の健全な発展と、働く者の幸せに向けて一体感をもって、今後の活動を強力に推進していきたいと思えます。

<最後に>

この後の役員選挙を経て、新体制での船出となりますが、私は議長を退任し、第12代目の議長には、自動車総連・次期会長の金子さんをお願いしたいと思います。新たな船出に際し、皆さんの満場一致での承認をお願いします。

私は、この後の審議事項で顧問にご承認いただければ、国際関係、特にインダストリアルとの連携を中心に活動していきたいと思っていますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。

今後いかなる困難や試練があろうとも、金属労協に集う仲間の知恵と努力で克服できると確信しています。

厳しい環境だからこそ、時代認識に立った明確なビジョンを掲げながら、新たな試み「改革と創造」に、金子新議長を先頭に、果敢に挑戦していただきたいと思います。

金属労協のますますの発展を心からご祈念し、議長としての最後の挨拶と致します。